

松江1/2

No	ご意見・ご感想
1	<p>質疑に応じられる方が話す上で文末が聞こえにくいと、自信がなさそうに聞こえます。実際に文末(～だ。～でない。)が聞こえない時もありました。個人攻撃で申し訳ないですが、厚労省専門官、文末がはっきり聞こえるようにお話し下さい。「20ヶ月齢での線引き」という点について質問する方も回答する方も、BSE感染牛が見つかるリスクとvCJD患者が発生するリスクとが混同されていると感じました。そこを整理しないとわかりません。</p>
2	<p>時間が長すぎる。屋前には終わった方がよい。質問のあとの返答が長すぎる。簡単明瞭に話していただきたい。</p>
3	<p>BSEにしろ鳥インフルエンザにしろ感染源の究明、頑張って下さい。いろいろ「食の安全」が叫ばれる昨今ですが、貧困に苦しむ国々にしてみれば、飽食の国ならではの贅沢な願いではないでしょうか。確かに、それも重要な事だとは思いますが、同時に「食の大切さ、ありがたさ」も訴えて、食べる事のありがたさを再認識させないと、日本人はどんどん我が儘になっていき、さらに重箱のすみをつついてきますよ。国民は行政側に愚痴るのが趣味みたいなものですから…残念!</p>
4	<p>全頭検査は日本の畜産農家は税金をもちいて自らの商品(牛肉)の安全確保をしようとしている。消費者はそれに対して高い牛肉を買わされている。</p>
5	<p>むなしい。コミュニケーションは茶番だ!!米大統領に首相は密約している。日本の消費者、生産者はバカにされている。</p>
6	<p>1. 肉骨粉の輸入規制を実施されているが、先般米国より輸入禁止の肉があったと聞いているが、どこまで完全に出来るのか不明である。2. 屠畜場での処理がマニュアルどおりに実施されているのか、監視を十分に行ってほしい。3. 12月1日より個体識別番号によるトレーサビリティが実施されるが、これの実施は12月1日屠畜牛よりであり、その点が消費者によく周知されていない。</p>
7	<p>最初の3名の説明が高度な内容があり、わかりにくいことがありました。わかりやすい「語」の使用をお願いします。</p>
8	<p>リスクミを全国で開催して頂いたことに対し感謝します。今後、国の責務として出来るだけ多くの国民の皆さんとのリスクミをお願いしたいと思います。このことが食の安心につながると思います。</p>
9	<p>表示がしっかりしていれば、消費者として選択の余地がありますが、飲食店などでの牛肉の飲食の場合は無理ですね。もっと消費者にむけての説明の機会をたくさん設けて下さい。</p>
10	<p>※様々な規制、措置が整っても、実際に牛に係る“人間”に、その必要性が伝わっていなければ効果はない。生産、加工、物流、各々の方々に「守ってもらう」ための罰則も必要だと思う。※内部告発者を守る法律も整えてほしい。※マスクミの方々には、興味本位の記事ではなく、国民の判断材料をきちんと伝えてほしい。</p>
11	<p>BSE検査が全頭検査でなくなる。どこでどんな風に発生していくのかの確実なるものがない分、全頭検査は行うべきである。</p>
12	<p>全頭検査は続けてほしいです。</p>
13	<p>①③資料は事前配布を! ◎拙速に見直し確定せず、十分な時間と多様な方法を使って、国民消費者の不安感を取り除くこと。</p>
14	<p>対策としての方針で、この時期になぜ21ヶ月齢以上の検査にするのか不明確でわかりにくい。</p>
15	<p>意見交換の時間が少ない感じですね。説明が長すぎます。</p>
16	<p>時間が限られるので仕方がないが早口だった。</p>
17	<p>報道の方でニンニクのおいしがして気持ちが悪かった。気を付けて下さい。大きなカメラを持っておられました。</p>
18	<p>・現在の施策を確実に進めてほしい。・肉骨粉の入っていない飼料で育てられていても発症することに対して研究をつけて欲しい。・20ヶ月以下で異常プリオンを検出出来る方法も研究して下さい。</p>

松江2/2

No	ご意見・ご感想
19	とくに厚労省は態度があいまい。誠実さが乏しい。
20	専門家の方達の講演及び調査内容等々、良く頑張っておられると感心しました。この様に真剣に取り組んで頂いておれば、日本もやや安心ではないかと思いました。今後もどうか大変でしょうがこの件に関して頑張ってください。
21	講演者の声が小さく聞きとりにくい。
22	消費者の不安をとり除き、安心安全な畜産物を求めてもらうためには、現状取り組んできた全頭検査は継続すべきと考える。生産者もこの問題について様々な対策に対応してきた。これは、作った畜産物が、わだかまりなく食してもらうことが、生産安定と農業の発展につながる。全頭検査継続と水際の防止策の強化により、牛肉等の安全神話を構築すべき。米国の軋轢に負けないで下さい。
23	駐車場代が実費なのは如何か？会場も、もう少し大きく、講演内容も21ヶ月以上を対象とした根拠を中心に、簡単に説明しないと一般消費者は理解できないと思う。
24	原因がわからない、安全性も最終的にはわからない、最後は食べないしかないのでしょうか？安心して買って、家族に安心して食べさせたい。100%安全な食品はないと認識していますが、より安全性を求めていく体制はくずさないで下さい。
25	会場の地下駐車場、せまくて車が停めにくかった。肉食型食生活をいま風(かんたん、おいしい、安全、体に良い)日本型食生活になるよう指導していく必要があるのではないかと思う(お肉関係のお仕事をされてる方すみませんが)。
26	20ヶ月という区切りについて、これまで以上にアメリカの圧力を強く感じた。今回の意見交換も輸入再開に向けた段どりとしか思えない。
27	飼料を輸入にたよっている我国において、生産者として世界的にみてBSEが減少しなければ、安心して生産をすることができない。BSE対策は、日本が先頭に立って世界的規模で検討してほしい。
28	米国や官邸？の圧力に屈することなく、国民の健康を守るために今後も頑張ってください。
29	BSEだけではなく一般論として“安全”対策については良く理解できる。しかし、“安心”を得るための方策は難しいと思う。もっと消費者側から“安心”を得るためにどうしたら良いかの意見をくみとること、それに正面から向き合うことが重要と思う。マスコミももっと正確な情報伝達が必要ではないだろうか。農水大臣が、肉を食べて「うまい」といっても安心は確保できないことを行政は認識して下さい。
30	質問に対する回答が的をえていない様な感を受けた。消費者を納得させるには不十分。
31	現在の日本での屠畜頭数のなかで、20ヶ月齢以下が何頭でしょうか。その検査をしなくなると、どれだけの経費節減になるでしょうか？検査する牛と検査しない牛とに分けることについての努力、煩雑さはどうでしょうか？
32	・人の健康を守ることが大切で、全頭検査すべき。・全世界が足並みを揃える方向で働きかけることが必要と思う。
33	BSEの感染から発症までの詳細が明らかになっていない状況でいま取られている体制でリスクがどの程度軽減されるのか？リスクをより減少させるには現状よりももっと厳しい体制が必要では。今日のコミュニケーションに参加した人のほとんどが、リスク低減に結びついたかは疑問となる会でした。
34	・米国牛の輸入について、米国のトレーサビリティが確立されていない現状では反対。・SRMの除去についても、米国も全牛を水準に併せない以上反対。

山口1/2

No.	ご意見・ご感想
1	・意見交換の時間が少なかった。・肥育生産者の意見を聞きたかった。
2	山口までお越し頂いて、ありがとうございました。動物性油脂が牛への飼料に使用禁止となっている事を今回知りました。えさの安全性を高める事は、とても大切だと思います。一方、人間は、この動物性飼料を食用にしていると思いますが、子供の口に入ることにとっても不安に思います(食用精製加工油脂として、マーガリンやショートニングの原料として混ぜられていると聞きます)。私は、人間への食用を禁止して頂きたいと思います。
3	アメリカ牛の輸入禁止を評価する。今後、米国のレベルアップをお願いしたい。レベルがあがらない場合の輸入はすべきでない(米国内の肉はどうでもよいが)。
4	・開催の案内について、県内での周知方法が曖昧。→どの事務所が責任を持って呼びかけを行っているか不明。・意見交換会の時間が不十分(講演者の応答が長い)。・消費者、生産者の意見を聞くのが目的であれば、説明をもっと易くすべき(ある程度の情報を持ち、参加している人には良いと思うが)。
5	大変よい企画でした。
6	アメリカ産の牛肉は、いつ日本に入るか?(チェックは大丈夫か?)
7	生産者不在で、消費者の安い肉輸入への声として、米国と日本の大手商社の力で輸入が再開されようとしています。もし、輸入肉等で身体の異常が出た時、国は責任をもって下さいますか?
8	今日は、それぞれの専門委員代表の方々の講演は、消費者にとってはとても勉強になるものでした。これからは、何事も消費者を交えたコミュニケーションを開いてほしいと思います。国民の権利(知る)をお願いしたい。今後とも、国民のために、研究・調査をしっかりとお願い致します。
9	BSEについてそれほど情報を持って臨んだのではなかったもので、ところどころ用語がわからない部分があったのが気になりました。講演者の方に口頭で説明はしていただけたのですが、できれば資料に載せていただいていたと嬉しいです。
10	"BSE"はテレビでよく耳にしていたのですが、今回参加してみて、食品安全委員会の取り組みがよくわかり、勉強になりました。
11	普段、TVでしか聞くことのないことだったので、詳しいことが聞けて勉強になりました。
12	初めの、今日の流れの説明が長すぎ。そのためか、時間におかれて話が駆け足気味だったのでは。
13	駐車場も確保出来る場所が良かった。
14	質問される方々が、非常に神経質になっている様に感じました。又、質問される方々も、わかりやすく簡潔に伝える必要があると感じました。
15	全体的に時間が短いように思う。そのせいか、説明が駆け足であったように思う。結果的に、意見交換の時間が少なかった。
16	・意見交換の時間が少なくなったので残念。一般の人には2分で質問…は難しい。・アメリカの、日本の全頭検査と比べてアバウトな検査体制のまま、牛肉が輸入再開されるのは、大変心配。生体で異常がみつけないのであれば…。・安全な食はもちろんです。が、農家の高齢化、海外からの輸入etc. で自給率が低下しているので、農業、食料生産・自給対策も強化した方が良いと思う。
17	安心と不安を同時に感じます。主婦の立場からすると、安全なものを食したいと願うのみです。スーパーに並んでいる食品を信頼するしかないのですから…。
18	1日も早い米国との輸入の再開を望みます。海外旅行者への個人の判断に任せるなどの意見、見解がありましたが、国内においても全くその通りだと思えます。アメリカ産の牛肉を購入するかどうかは消費者の判断であり、自由だと思えます。ただ、表示を明確に正確にすること、又、そのチェック機関がポイントだと思えますが…。
19	・早く、安くておいしい肉を食べたい。・リスクコミュニケーションの時間を守ってほしい。説明に費やされる時間が守られていないので、質問時間がない。"意図的なのか。"
20	BSEを防ぐことがとても重要だとは思いますが、感染牛に対する予防ワクチン等が開発されることを望むと共に、人に対して危険を防ぐのに、自らの知識を高めたいと思います。
21	時間が不足しているように感じました。
22	意見交換時間が足りないと思われる…というところが、良いのかもしれません。
23	早口はいけない。時間内にキチンと終る。意見交換の時間が減ってしまう。回答がずれている所もあった。

山口2/2

No.	ご意見・ご感想
24	時間不足。説明も曖昧。専門家を出席させろ。
25	※時間的なこともあるが、意見は出来るだけ聞くこと。
26	諮問の考え方等の説明については設定時間のせいも非常に早口で何を話しているのかよくわからない！設定時間のミスとしか言いようがない！！
27	厚生労働省、農林水産省の説明(安全委員会も同様)が重複した内容である。

広島1/1

No.	ご意見・ご感想
1	質問に対し応答のほとんどは理解できましたが、一部ズレた返答があったように思いました。時間内に終わって下さい！
2	・現在日本において実施している、BSE対策は、国際的にも評価出来る。・この対策を、継続並びに国際基準までにしていただきたい。・21ヶ月齢未満の検査を実施しないことは、現時点の検査方法においては、機能しないと説明があったが、今日本は、「安全・安心」を基本としている。科学的根拠も理解出来るが、精神的な、安全・安心の為（無駄としても）に検査継続をお願いしたい。
3	会場が悪い（狭い、交流の便、机がない）。時間的に早口で理解しにくい。
4	アメリカ産等の輸入肉についての、説明及び、交渉がどの様になりつつあるのか、知りたかった。
5	人間として推し測ることのできなかつたことが発生してしまうのが現在だと思いますが、判明した時点で、リスクに対して出来るだけ迅速に対応し予防していくシステムが確立されることを切に望んでいます。
6	場所、室内環境を研修効果に大いに関与する配慮は全く感じられなかった。
7	①早口過ぎる。②資料が多すぎる。③まとめる（文章）表現が多くて理解する時間がない。④安全委員会と農林水産省の「発生人数等」が異なっている。⑤開催のねらい、説明の要旨と、各まとめが欲しかった。
8	米国产牛肉輸入再開に対する内容が全く盛り込まれていない。
9	・安全委員会は、政策や、アメリカの圧力等にかかわらず、政府の方針に沿うことを前提ではなく、科学的に結論を出していただきたい。・正確な月齢を把握するためには歯や肉質ではなく記録しかない。
10	アメリカ等諸外国も含め、今の現状や今後の課題をわかりやすく教えてもらい、生産者等にも話をつないでいこうと思いました。ありがとうございました。
11	食肉処理場の汚水処理はどうなっているのか？（プリオンを不活化できる処理は現状では無理だと思う）。それらを介して2次3次感染を起こす可能性についてはどう考えているか？
12	意見交換の時間が長かった方がよかったと思う。
13	開催時間が中途半端であった。全頭検査をしている現実があるのに、スーパーに行けば“検査済”のシールとBSE陰性の証明が見られる。消費者はまだ不安に思っているのではないのか？全頭検査にかかる費用は？
14	1、個体識別番号が12/1から実施されたが、偽装など今後でてくることが考えられる。この流通段階、生産段階でのチェック体制をしっかりとっていただきたい。また、この検査については、公平公正な機関（行政）がしっかりと行っていただきたいし、情報（公表？）もいただきたい。
15	専門家各氏の持ち時間が短すぎて早口の説明ではわかりにくい。
16	食の安心と安全とは切り離せない関係である。食事は生活の中で楽しみなものであることから、安心して供されるものであってほしい。国民の声をもっと生かし、食品安全対策を確立してほしい。
17	食品に全く安全というものはない。安心は主観的なもの。安全を感じさせるには説明不十分。安全でなくとも、理解の上に立って食べたい。安心のために科学的根拠が曖昧になっていないか。説明の方法に工夫がほしい。
18	清浄国とされている東南アジアの国々は、清浄であるという証明はされているのか。検査していないだけではないか。
19	この会場は、駅からの交通アクセスが不便である。

山形1/2

No.	ご意見・ご感想
1	トレーサビリティの説明も、もっと詳しくあるのかと思っていたが、そうでもなかった。最近、耳標を別の牛につけかえたというニュースを見て、そんなに簡単にとりかえが出来るのかと不安。
2	現在の世の中、スピードが早いです。調査研究と速やかな対応をお願い致します。ありがとうございました。
3	意見交換の時間が短かったように思いました。
4	こういった企画が(いろいろな食品に関して)あると、消費者や卸売業者、小売業者の方々も、より豊富な知識を得られ、良いと思います。私も小売業者の一人として、販売する上でプラスになりました。これからも、食品に関する意見交換会を増やしていただけると良いと思います。
5	安心は、対することは、科学的な考え方も必要だが、まずは消費者の心の安心を作るのが大切だと思う。
6	一消費者として、BSE問題に対する安心度が深まりました。しかし、国産の物に対しては実現できる安全・安心が、そのまま外国産のもので実現できるかは、とても遠い道のりのような気がします。妥協をゆるさず、すすめていってほしいと思います。
7	日本のBSE検査には理解できるが、US牛については情報の不足、米国政府の対策がよくわからなく、不安感がとても強い。
8	現在、私が勤務するレストランの営業が、山形県産牛肉の値上がりにより、きびしい状態に有り、早期に、安全な形での米国産牛肉の輸入再開による、国産牛、県産牛の値段の安定を望みます。
9	検査対象を21ヶ月以上にしても、十分リスク管理ができることは理解できるが、日本の生産状況を考えると(20ヶ月以下のト畜頭数は少ない)、全頭検査をして、より早期の解明に努めるべきだと考える(あくまでも研究・調査のため)。その基準について、他国と必ずしも合わせる必要は無いと考える。
10	牛の飼料、肉骨粉等の輸入禁止に関しては、まだ甘い所が多々あると思われました。徹底したやり方を希望します。安心した牛肉が味わえる日を…望みます。
11	誠実に取り組んでいる事がわかり、安心しました。今後とも、よろしくお願い致します。
12	同じような開催を、年に何回か開いた方が良い。
13	オーストラリアのBSE対策はどうか不安。
14	安心に結びついたとは思いますが、これからの発展検査について期待しています。米国牛の輸入については、万全を期してと熱望致します。
15	食品安全委員会に直に意見がいたい時はどうしたらいいのか。日本と同等の安全が確保されない場合は、アメリカからの輸入はないのか？きちんとして下さい。
16	日本でBSE発生以来、日本の高級牛の輸出が、米・中国に禁止されていると聞きました。米から日本への牛肉輸入のみ論議されているのは、どう考えたら良いのか。
17	日本では全頭検査で特定部位は全頭除去すると聞き、少し安心しました。今後も全頭検査を続けてほしい。輸入肉も全頭検査の物を…。
18	消費者が安心して牛肉を食べられるように(アメリカ輸入肉も含めて)してほしい。
19	とてもわかりやすい説明でよかった。まだ究明されていないことですので、是非20ヶ月以内の若年の牛の検査もしてほしいです。
20	・21ヶ月と20ヶ月、1日違いで何が変わるのか、その決め方が納得できない。・結果ありきの意見交換会は、リスクコミュニケーションとしては片手落ちなのでは？・安全、安心は100%はなくとも、それにもっとも近い対策が、人間の心も含めた安全、安心となるものなのではないか。・月数に関係なく、BSEの検査が対応できる技術を開発することが一番なのは。・意見交換の時間が短すぎる。
21	牛のBSE検査は大変頑張っておりますが、他の動物(羊、山羊等)の検査、病気発生はどうなっているか聞いてみたかったです。

山形2/2

No.	ご意見・ご感想
22	らしい、とか不確認な部分がまだまだ多いのに、なぜ20ヶ月齢とか限定しようとするのか、その気持ちが理解できません。全頭検査することで、消費者は安心を得ていることはありますが、いったんBSE牛が近くで発生した場合、不安になります。まだまだ不安感があるのが現状です。アメリカとの関係はあるでしょうが、まだ早いと思います。大丈夫、大丈夫でないという問題ではなく、消費者が安心できるかどうかで。
23	BSEの発生したのは何年か前であったかと思いますが、なぜ今、BSE対策を検証するのですか？英国で発生してから、そのまま輸入の飼料を食べさせていたと思いますが、国内飼料で飼育は出来なかったか。日本国内では、一頭もBSEは出して貰いたくなかった。
24	食品安全委員会の存在意義をはじめて感じる事ができた、貴重なお話でした。今後の活躍を期待します。
25	今回の月令(BSE検査月令)の引上げは、米国産牛肉輸入交渉のための事前準備としか思えない。月令引上げ以外の国内対策見直しは納得できる。
26	BSEが発症、発病に至る原因の究明、そのプロセス、なぜ、どのようにして、肉骨粉を飼料とする事により発病するメカニズムの詳しい説明も、併せて行われるようにして欲しい。
27	・資料については、口頭で説明がないと、文面だけでは理解不可。説明も駆け足、早口で一般の人には困難だし、やや専門的だと思う(時間がなかったことであろうと思うが)。・BSEを含め食品に関してもっとも身近で感心があるのは主婦層である。またBSE等について憶測や誤まった理解が蔓延していると思えるので、こういう説明の場を広く設けて欲しいし、より解りやすい説明、進行をお願いしたい。・一度誤まった対策をとると取り返しのつかない結果を招く危険がある食品に関する事は、便宜や経済上のことを優先することなく、まず人の健康を最優先する対策と思い切った判断をして欲しい。安全・健康は日本の未来の全てだと考える。
28	安全・安心の観点から全頭検査は必要かと思いますが、BSE検査対象を21ヶ月令以上とした場合、全頭検査を継続する県としない県が出てくるのではないかと聞いておりますが、当面は検査費用を負担するとのことですか。将来、生産者が検査費用を負担することが見込まれるのですが、その点どうなるのでしょうか？(県単位で相違差が発生)。
29	・リスクコミュニケーションの場が余り無いので、今後、こういった意見交換会を設定して頂き、広く国民の意見を上げて頂きたい。
30	一般の方々には専門用語等、解らない点もあると思います。もう少し噛み砕いた表現をお願いします。参加者の知識レベルも様々であることを認識していただきたく思います。
31	資料1～3で重複している資料が多いので、内容をもっと整理して欲しい。牛肉を消費する立場として、どうすれば安全な肉を手に入れることが出来るのかも知りたかった。米国牛の輸入規制についての意見なども入れて欲しかった。

仙台1/1

No	ご意見・ご感想
1	話をきいてわかったが、消費者に安心感のもてるものとは言えない。米の例が少ない私達が一番心配しているのは米牛肉の輸入再開に関してだが…
2	現状でのBSEの安全対策は①フィードバーンの徹底である。②SRMの除去 この二ツである。全頭検査ではない。
3	SRM除去に際し、ピッシングは中枢神経組織が血液を介し、他の臓器へ移行するといわれ、中止した方がよいと前から言われていたのに、現在もまだ7割で行われているという現実に驚いた。早急に中止してほしいものです。飼料規制として、牛用とその他用とを完全に分離するとありますが、本当に確実に分離することができるのかが不安。
4	質問に対する答えをあとでHPにアップしていただけると嬉しいです。もつちよつと柔らかいムートにさせていただけると嬉しいです。
5	資料がわかりやすく理解が深まった
6	アメリカ産牛肉の輸入禁止による影響は私共飲食店(牛たん)を直撃しています。昨年ボトム価格の5倍の材料(牛たん)を購入せざるを得ない状況です。販売価格に転嫁できない状況の中で、経営的には限界です。誰も助けてくれません。
7	テレビなどの大きなメディアを利用して広く国民に説明はしないのでしょうか。誤った情報が一人歩きしているように感じます。
8	机がないのに資料がバラバラに入っていて、見にくかった。クリップで1つにとめるなど工夫してほしい。①安全と安心は違うので、安全だから検査をやめても安心は得られないと思った。②全頭検査されたものと21ヶ月未満で検査されないものが流通するのであれば必ず表示して欲しいと思う。今牛肉のトレーサビリティが始まったのだから、こうした表示に簡単にできるはず。あとは消費者の選択にまかせれば良い。
9	食品のリスクにはつきもので、健康食品、自然食品にもリスクは多少なりともあると思います。BSEについても同様で、現時点で出来る対策をとる事が有効と考えます。
10	事前の要望・質問等が何件もあった旨説明していたが、せめて事前分の要望、質問がどんなものであったか、配布にいられてほしかった。交換会の時間が足りなかった。もう少し長く。特に10分間の休憩でなく、20分くらいいられて要望をもっと多く取り上げてほしかった。
11	①開催時間(15:00~17:30)を参加しやすい時間に！②なぜ21ヶ月齢以下の検査は県の判断としたのか。二意見が多いのであれば、国として対応を考えるべき。
12	安全対策の評価が高まったのはよく理解できた。全頭検査をした方が安全ではないのか。除去は完全か？(無駄だからする必要がないのか。検査費用などの軽減など、卸加工業者へ配慮があるのか科学的根拠は理解できても利害関係などについての説明が不足している。)
13	BSE対策に関しては現状を理解できました。
14	悪いことを考えて実行する人間は一人で行うとは考えにくいので、従業員等の情報提供者を積極的に引き出す為の法的な措置(生活が保証されること)を提案して欲しい。
15	一般消費者の参加が少ない。これはPR不足である。ホームページ中心のPRではダメ。これではリスクコミュニケーションを行ったというアリバイ作りをしているだけとられてもしかたない。(本当に消費者と意見交換する気がないと思われる。)
16	参加申込みをしたが返事が無かった。また会場は申し分ないが駐車料が高額すぎる(高率割引を希望)今回は質疑応答の時間があつたので評価できる。
17	食品安全委員会の委員の講演は最もわかりにくいし、内容を委員本人がきちんと理解していない。もっと勉強して発表すべき。しかも説明の仕方、話しぶりがへたで、あいまい。このような者をコミュニケーションにだすべきではない。
18	消費者と言いながら業界団体の話をするのはやめてほしい。

盛岡1/2

No	ご意見・ご感想
1	全頭検査の必要はないと思います。グローバルな時代に何故アメリカ産牛肉の輸入禁止を続けるのか。食料は世界共通のものでなければならないと思います。
2	検査体制について、結果を急ぐことに終始せず、国民に納得いく形で理解を得てからでも遅くはないと思う。
3	一般消費者へもっと周知を図るべきだと思う。参加者の多くは、行政担当者又は、企業の関係者であり、日本で最も不足している消費者とのリスクコミュニケーションが深まらないのではないだろうか(県と国とが別々に行うのでは非効率的)。
4	意見交換の時間をもっと取ったほうが良かった。
5	すべて安心、安全ですという報告を聞いているように感じた。しかし先を急いでいる様でアメリカからの輸入を再開する為の、今日のリスクコミュニケーションなのでしょうか。
6	・参加手続きがここまで必要なのかと思いました(FAXで参加券送られるとか)・後半で発言された方々の意見に賛同します。本当の意味でのリスコミを。・生産者の方々の意見をたくさん聞いて下さい。
7	回答側の発言が長すぎる。会場からの意見を2分はいいが、回答側も簡単にすべきだ。コミュニケーションをとろうとする姿勢は前より前進しているので、本当に消費者の立場に立ってもっともっと改善して欲しい。
8	○リスク分析、BSE対策に関して、検査を厳しく、できるだけ費用を使用して偽装を無くすよう努力して頂きたい。○肉骨粉入の飼料輸入については、検査を努力して頂きたい。
9	もう少し学習していきたい。
10	リスクコミュニケーションは、誰の為なのか疑問です。説明を聞く為にだけ来ている訳ではないが、意見は、検査の継続の一点に絞られるので消費者の「意見」を広く取り上げることに時間と経費を使って欲しい。説明したという振りは、無駄なことです。
11	会の時間をもっと長く取って欲しい。
12	そもそも消費者は、VCJDが不安と思われることから、説明の前段に「VCJD患者になるためには」といった逆方向から責めてはどうか?・マスコミに対し、十分な説明を行い、正しい情報を正しく伝えるようお願いしたい。
13	時間が短かった。午後1時～5時くらいの時間でじっくりやって欲しかった。
14	やはり全頭検査は続けるべきと考えます。
15	BSEに対してリスク評価が高過ぎるように感じる。350万頭検査して14頭の陽性で肉は安全なのだから、検査にあまりにウエイトを置きすぎている。検査が重要ではなくSRM排除が重要だということをもっと消費者は理解すべきである。
16	①やっぱり20ヶ月以下検査を続けて(多少お金がかかっても)国民の安心を深めていくべき。②何よりも心配しているのは、米の牛肉輸入が不安。21ヶ月以下不検査、SRMと検査の技術、何よりも不信感を持っている。
17	内容がダブっている。
18	3人の立場の違う方報告は約30分程度では理解を深めるというのは困難だと思う。資料も、半分はパワーポイント等解りにくいもの、消費者が見てすぐ理解出来るものではないと思う。見上さんは非常に断定的におっしゃったが、カリフォルニア大の○○○○教授は、20ヶ月以下というような根拠は合理的説明が無いとしている。コミュニケーションという場であるなら、様々な考え方があるという事が交流されるべきで、個人の意見がイコール国や食品安全委員会の考えというように受け止められる事は避けるべきだ。※発言者に対する時間制限と呼び鈴、非常に不愉快だ。答える方は時間無制限で、発言者に時間制限は納得できない。内閣府のリスコミはこのパターンが多い。改善すべきだ。
19	将来的にBSEが人に感染して死亡する確立が0.5~0.9なのに何故こんなに騒ぐ必要があるのか良く解らない。又、SRMの処理が確実に行なわれサイクルから排除されている中で、問題は少ないと思っている。それよりも現実的なO517やE型肝炎など食中毒等により死亡していることへの安全確保が必要と思う。

盛岡2/2

No	ご意見・ご感想
20	はっきりと国際的立場で話をした方が、解りやすいと思うが。
21	いくら言い訳をしても20ヶ月齢以下の牛を検査から外すということは目の前にアメリカ有りきとしか思えません。その納得のさせ方に全国行脚しているのは好ましくないと思う。もう少し数を重ねてから解除してもいいと思います。
22	かなり完成度の高いリスクコミュニケーションであった。
23	消費者の意見が一方的過ぎるように思います。参加の呼びかけに応じる方々は、一方的な理解、意見をお持ちの方で、ある意味、何を言っても聞く耳持たない人もあるやに思います。吉野屋の牛丼に何の迷いもなく並ぶ方々や、何だかよく解らないけれど、説明してもらえば納得できそう…という方々の意見をどのように拾い上げていくのか、どうやって説明し理解を得ていくのかを考えると果たしてこのような開催の仕方だけで良いのか疑問に思います。意見交換会でも、今の対策がとられて来たお陰で、これだけ発症が抑えられているという部分のアピールが下手だったと思います(特に農水省の方)。これをやっている…ということだけでなく、これをやっているから、このように安全になっているという説明の仕方をもっとやられたほうが良いと思います。

青森1/2

No.	ご意見・ご感想
1	潜伏期の動向がわからない。
2	外食する際も、お弁当を買う際も、安心というよう、信用するようにして買っているが、本当は心配。心ない業者も必ずいると思うので、輸入再開には、国産以上の厳しさが必要。そうでないと国は信用されない。
3	今後も公正な立場に立って、リスク評価をして下さることを要望します。
4	全頭検査は安心のため、SRM除去は安全のため、と理解される。輸入牛に対する全頭検査は相手国の疫学等のための話であり、安全のためでないと解される説明と受けとめた。輸入牛に対してもSRM除去がなされれば国内同様の安全性が担保されていると言えるのではないかと。今回の交換会で得た理解は上記のとおりであるがいかか？
5	-14頭(特に21ヶ月齢と23ヶ月齢)の牛が何故BSEに感染したかの説明がなければ飼料対策が有用かの判断ができない。「中間とりまとめ」で、まだ未解明部分が多々あるのにと畜検査(全頭検査)を変更するのは科学的検討といえないと思う。☆事前に資料を送付していただければよかったと思う!!
6	●BSE対策に直接携わる者なので、説明内容は理解できたが、一般の方あるいは現場に従事していない方々には分かりにくい内容と思われた。
7	輸入牛肉についての安全性だけはしっかりやってほしい。
8	◎時間設定が少し遅い時間となり、参加者には不便であった。◎各省からの説明が別々であったためかぶる部分があり、時間のロスがあった。◎質問の時間をゆったりとり、説明は簡単でよかったのではないかと。全体的に時間が少ない。◎質問が多く、多くの国民の関心が高いことに参加してびっくりした。
9	・とっても早口ですネ。久しぶりに神経をピリッと集中させました。・できましたら資料は一応目を通してから参加したかったです。・質問に対して大変細かく答えていただきありがとうございました。ほんとうに今日は勉強、参考になりました。
10	米国产牛の早期輸入解禁を望みます。SMR除去が最も安全の確立が高い訳ですから、その点をしっかり管理できればOKでしょう。
11	これからもリスクコミュニケーションを開いてもらい、消費者、生産者、加工業者の理解を深める様、又、安全安心をより良く説明してもらいたい。
12	これからも継続して開催して下さい。
13	独立した機関とし、中立を守り、頑張ってもらいたい。農林水産省、厚生労働省と一体となった会はいかがなものか。食品安全委員会が国民消費者から信頼されるよう、これからも頑張ってください。
14	20ヶ月齢以下の牛を検査から外しても安全であるというのであれば、全頭検査を実質的に継続させるような自治体への補助はやるべきではない。消費者等の混乱回避というが、そうであれば国民への説明を徹底した後で、国民の理解が深まった後で(数年かかっても)、20ヶ月齢以外を除くべきである。ブランド確立等の観点から全頭検査をやるかどうかは自治体に任せるべきである。厚生労働省の対応は2重基準を助長するものであり、かえって現場を混乱させる。補助はやめるべきである。
15	100%安全な食べ物はありません。その事をふまえ、情報交換や開示する事で、いかに上手につきあっていくのが大切だと思います。そういう意味ではアメリカ産牛肉も自給率や今の状況を考え、早急に入れるべきだと思います。選択権は消費者にあります。安くておいしい牛肉を一日も早く食べられることを願っています。
16	遠路おいで下さいましてありがとうございます。目前で国の第一線の方の講演を聞く事ができてとても有意義でした。時間の使い方が上手だなと思いました。
17	米国产牛肉輸入解禁は来年〇〇月の見通しなのか？それは、全面解禁なのか？
18	・配布された資料について、もう少しソフトな資料を多く配布した方がより分かりやすいのではないのでしょうか！・意見交換の時間が、もう少し長くても良いのではないのでしょうか。
19	・輸入牛の検査について、という質問は、各国の検査体制についてということだと思いました。
20	21ヶ月令未満の検査限界を消費者に理解してもらうには、リスコミ以外の方法が必要ではないのか。
21	・遠くからの参加者もあり、終了時間の設定が遅い(もっと早めの開催に)。若干時間不足？
22	ごくろうさまでした。

青森2/2

No.	ご意見・ご感想
23	言い訳をしている様に聞こえた。アメリカからの輸入をすすめる為に検査月令を下げたとは思えない。
24	意見交換会は時間の制限もあり、質問集め、一気に回答ということでしたが、一問一答の方が理解しやすい。
25	都道府県単位のリスクコミュニケーションをなるべく多く開催してください。
26	・いろいろな面で、日本は(行政)整っている感がありました。
27	・いろいろな面で、日本は(行政)整っている感がありました。
28	中間とりまとめは、EU等のデーターとの比較検討のためと申しているが、米国からの輸入とのからみもあるのではないか。米国の検査制度(方法)は非常に感度が低いといわれている。また、サーベイランス、30ヶ月令以上の検査体制の国からの輸入はさけてほしい。